



博物館通信

冬号



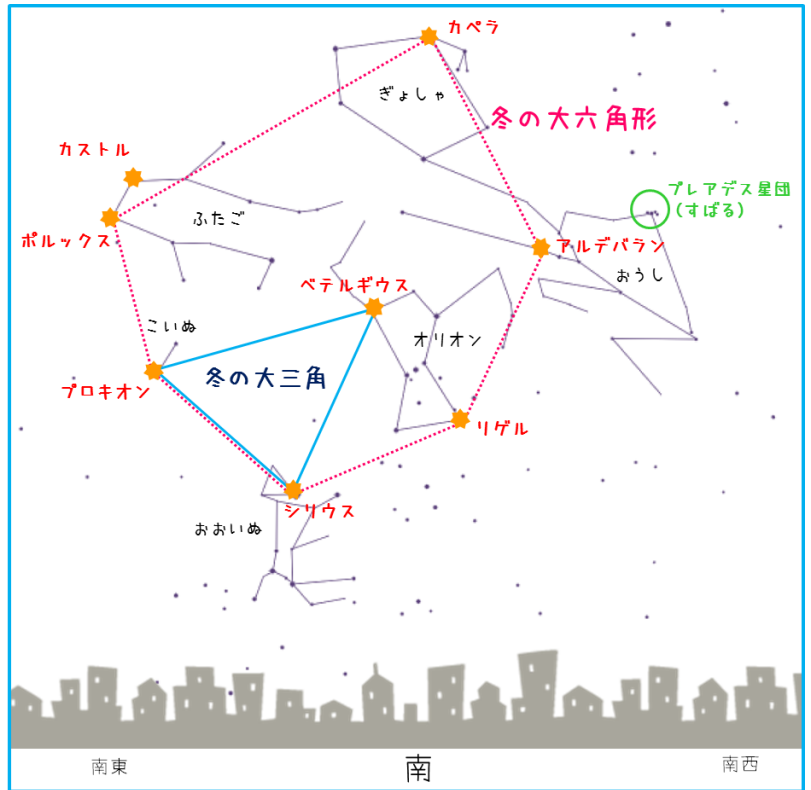
2022年1月発行 Vol.82

冬の星座を探そう!!

冬の星座には、明るい星がたくさんあり、とても探しやすいです。とくにオリオン座は、形が整っていることもあり、簡単に見つけられます。

そんなオリオン座の中で、近い将来爆発するだろうとよく話題になる1等星のベテルギウスとお隣のおおいぬ座の1等星シリウス、こいぬ座の1等星プロキオンを線で結ぶと「冬の大三角」を見つけられます。さらに、周りの星座の星を結ぶと、右の図のように「冬の大六角形」ができます。

他にも、おうし座の背中には、「プレアデス星団(すばる)」と呼ばれる星の固まりがあり、肉眼でも5~6個の星が固まっているのが分かります。昔は視力検査に使われ、何個見えるか数えていたそうです。みなさんは何個数えられますか？



2月15日 20時の星空(ステラナビゲータで作成)

また、星の明るさだけでなく、色にも注目してみてください!! 星の色は、星の表面温度によって違い、表面温度が上がるにつれて“赤→オレンジ→黄→白→青”と変化します。ベテルギウスの表面温度は、約3500度と温度が低いため、赤く見え、リゲルは、約1万2千度と温度が高いため、青白く見えます。



天文知識

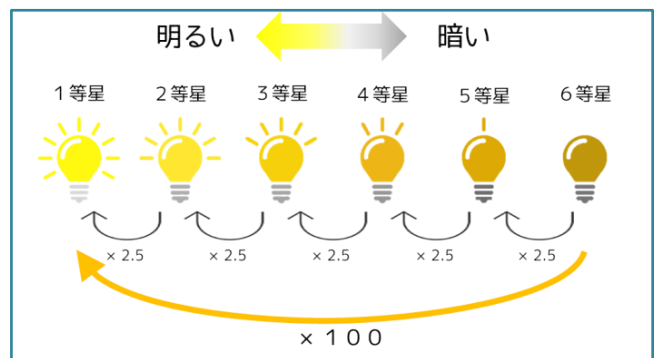
星の「等級」って??

星座紹介のときに、「オリオン座の1等星リゲル」や「ふたご座の2等星カストル」などと聞きますが、その1等星や2等星って何なのでしょう？

星には、明るい星や暗い星とそれぞれ星によって明るさが違います。その明るさを表わしているのが、「等級」です。今から2000年以上前に肉眼で見える一番明るい星を1等星、一番暗い星を6等星としました。現在は、もっと詳しく分け、1等星より明るい星を0等星、-1等星、-2等星...と明るいほど数が小さくなり、6等星より暗い星は7等星、8等星、9等星...と数が大きくなります。

ちなみに、1等級明るくなるごとに2.5倍明るくなり、1等星は6等星より100倍も明るいのです。

星の色からも星の特徴がわかるんだね!



星の明るさ

星座の星で一番明るいのは、おおいぬ座のシリウスで、-1.4等星。太陽は-26.7等星、満月は-12.7等星の明るさで見えているんだ。





2021/11/19

赤銅色に見えた「部分月食」



2021年11月19日に「部分月食」が起こりましたが、みなさんは見ましたか？

前回の2021年5月に起こった皆既日食は、岡山では天気が悪く見るできませんでした。今回は雲一つなく、しっかりと観察することができました！！

今回の月食は、月の直径の98%まで大きく欠け、皆既月食に近い部分月食でした。そのため、食の最大には、皆既月食の際の特徴でもある“赤銅色の月”を見ることができました。

次回、岡山で見える月食は、2022年11月8日の皆既月食です。また、この月食の最中には、天王星が月に隠される「天王星食」も起こります。



©岡山天文博物館

部分月食
2021年11月19日 18時2分(食の最大)



博物館のYouTubeで部分月食の様子を見ることができるので、見てみてね♪

こども天文クラブで観察会!!

部分月食の当日は、博物館の「こども天文クラブ」の皆で観察会を行いました。観察会では望遠鏡を使い、月の欠ける様子や色の変化を観察してスケッチをしたり、写真を撮ったりしました。



©岡山天文博物館



イベント情報

※詳しくは当館HPをご覧ください

3/5
(土)

宇宙★自然講座 植物が切り開く宇宙生活

宇宙で生活!!そんな未来が近づいてきていますが、宇宙で生活するためには何が必要なのでしょう？
宇宙で生活する際に欠かせない植物の役割をご紹介します!!

プラネタリウム投映のお休み

プラネタリウム室の工事などを行うため、プラネタリウムの投映はお休みとなります。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

期間：2月22日(火)~3月11日(金)



プラネタリウム冬番組



「ポラリス2 ルシアと流れ星の秘密」

でこぼこコンビのシロクマのレナードとペンギンのジェームズが帰ってきた!!

オーロラを観測中、ポラリス号に隕石がぶつかり、地球へ墜落!?そこで彼らは、伝説の「光の石」を探すハチドリのルシアと出会います。伝説の「光の石」の正体とは?新たな謎を解くため、月へ、小惑星帯へ、ついには彗星の核へと飛び立ちます。



岡山天文博物館

〒719-0232
岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
TEL/FAX 0865-44-2465

<http://ww1.city.asakuchi.okayama.jp/museum>

